

「海外で戦争する国」許さない

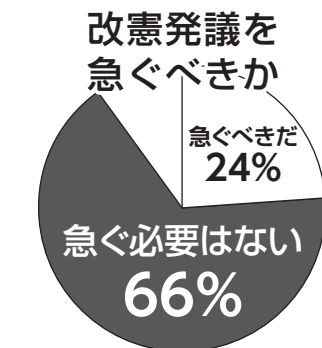
ストップ! 9条改憲



「憲法こわすな」「戦争アかん」のプラカードを掲げてアピールする「おおさか総がかり集会」の参加者。11月3日、大阪市北区中之島公園

「自衛隊」と憲法に書くだけなら…。ごまかされてはいけません。安倍改憲の狙いは、海外での無制限の武力行使に道を開くことです。

与党は総選挙で国会での改憲発議に必要な3分の2の議席を再び占め、自民党は来年の通常国会に改憲案を示すとしています。しかし世論調



「毎日」11月14日付

査では「改憲発議急ぐな」が多数(グラフ)。「ストップ9条改憲」一力を合わせましょう。

日本共産党

森友値引き **8億円** 根拠「不十分」

会計検査院報告 政府の主張崩れる

「森友」の小学校建設現場で報道陣に囲まれる小池晃書記局長。3月5日、大阪府豊中市(大阪民主新報社提供)



国有地が学校法人「森友学園」に8億円以上も値引きされて払い下げられた問題で、会計検査院が値引きの根拠とされたゴミの撤去費用について「十分な根拠を確認できない」との検査結果をま

とめました。「法令に基づき適切に処理した」という政府の主張が崩れました。

日本共産党はゴミの量が過大であることを衆・参院で繰り返し追及してきました。

首相夫人ら国会招致不可欠

「森友」が国有地に開設を予定していた小学校は、安倍首相夫人の昭恵氏が名誉校長を務めていたもので、払い下げ交渉の時期とも合致。昭恵氏らが関与していた疑惑が

あります。首相は今国会でも疑惑の解明から逃げ続けており、昭恵氏らの国会招致を含め、疑惑の徹底解明が不可欠です。

日本共産党

近畿民報

2017年11月 No.3(第306号) 発行/日本共産党国会議員団 近畿ブロック事務所

F537-0025 大阪市東成区通1-10-10ホクシンビル102号 Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115 Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。

折り目

開会中の特別国会で日本共産党の志位和夫委員長（衆院議員）、山下芳生副委員長（参院議員）は衆・参院代表質問に立ち、安倍首相の姿勢をただし、日本共産党の対案を示しました。



代表質問する志位和夫委員長=21日、衆院本会議



代表質問する山下芳生副委員長=22日、参院本会議

首相逃げと居直り

安倍首相はどの質問にもまともに答えず、志位委員長の質問には根拠も示さず「ご指摘は全く当たりません」と6回も繰り返しました。首相の所信表明は首相応援団の「読売」「産経」でさえ、「極めて物足りない」などと批判しています。

北朝鮮「対話で平和的解決」こそ

軍事力行使やめよ

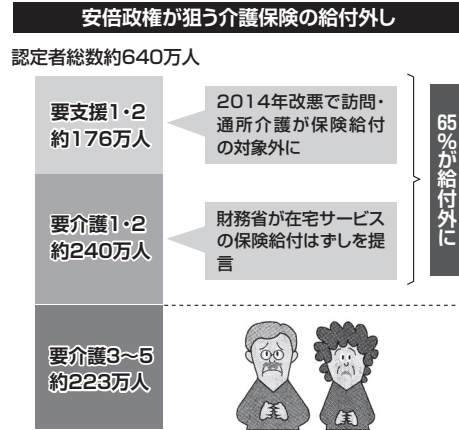
志位氏は、北朝鮮の核・ミサイル開発を厳しく非難。同時に、経済制裁の強化と一体に「対話による平和的解決」をはかることこそ唯一の解決策だとのべました。

「対話否定論」を繰り返し、先制的な軍事力行使をも「選択肢」に含める米国政府の立場を支持する安倍首相に対し、米国が先制攻撃に踏み切れば多数の命が失われる強い懸念（下）があることを指摘。「先制的な軍事力行使は絶対にはやるべきではないと提起すべきだ」と迫りました。

首相はどういう態度をとるか全く答えず、「米国と緊密に連携していく」などとのべるだけでした。

米下院 16 議員の声明より「議会調査局の報告では、朝鮮半島における紛争で、国境の両側で最大2500万人の人々が影響を受け、このうちには10万人以上の市民が含まれると指摘されている」（11月4日）

くらし「痛み伴う改革」ノイ



志位氏は、経団連が総選挙翌日に求めた「国民の痛みを伴う改革」の”号令”に呼応するように政府の審議会が医療・介護・生活保護の全分野で給付削減を打ち出していることを批判。「『社会保障を全世代型に転換する』というが、全世代に対する社会保障切り捨てにほかならない」と告発しました。（介護改悪の内容は上）

原発再稼働は世論に背く

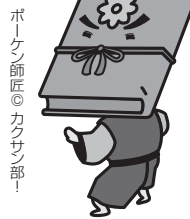


高浜原発3、4号機

山下氏は、政府が全国で約30基もの原発の再稼働を進める方針を示していることを指摘。どの世論調査でも「反対」が「賛成」の約2倍にのぼるとして、「国民の世論に真っ向から反するものだ」と批判し、「原発ゼロ」の政治決断を迫りました。

安倍首相は「原発ゼロは責任ある政策とは言えない」とし、民意に逆らい「再稼働を進める」とのべました。

9条改憲 求められるのは憲法守る政治



ボーンデザイナー © カクサン部!

志位氏は、憲法9条への自衛隊明記により「海外での武力行使が無制限になる」と警告。首相は何の根拠も示さず「ご指摘は全く当たらない」と答弁しました。

志位氏は、首相が戦争法や秘密

保護法など憲法違反の法律を数の暴力で押し通してきたことを挙げ、「憲法を守らない総理に憲法を変える資格はない」「いま求められるのは憲法をきちんと守る政治だ」と主張しました。